

## フィリピンの対中融和政策は維持出来るか

漢和防務評論 20170705(抄訳)

阿部信行

(訳者コメント)

フィリピン西部海域のスカボロー礁をめぐる、中国とフィリピンの漁船の紛争があり、フィリピンの提訴による南シナ海の領有権をめぐる国連の仲裁裁判でも中国の主権を認めない判決が出ましたが、フィリピンのドテルテ大統領は中国との個別和解の姿勢を示し、中国から経済援助を受ける方針を選択しました。

しかし最近中国はフィリピン東部海域のフィリピンの排他的経済水域内のベンナムライズ（海底が隆起した場所）に海洋観測船を派遣し、綿密な海洋調査を行っています。

フィリピンの防衛大臣は憂慮していると述べ、海軍司令官は大統領の命令があれば、如何なる措置も実施する能力がある、と述べています。

海洋観測船をフィリピン東部海域に派遣するに当たり、中国はドテルテ大統領に事前連絡を行った、とのメディア報道もあるようです。ベンナムライズは、中国潜水艦の活動に何らかの影響がある海域のようです。

**KDR** ランカウイ **KHOO JIN KIAT** 特電：

中国とフィリピンは、南シナ海黄岩島（スカボロー礁）での争いの後、再び新たな海上での紛争を発生させる可能性がでてきた。その海域はフィリピン東部海域のベンナムライズ（**BENHAM RISE**）（中国名：賓漢隆起）である。

ランカウイ海事航空展覧会（2017年3月、マレーシア）において、**KDR** はフィリピン海軍司令 **RONALD JOSEPH MERCADO** 中將に **BENHAM RISE** 海域の情勢を質問した。同中將は次のように述べた：一旦国家の指導者が命令を下達すれば、フィリピン海軍は **BENHAM RISE** で指導者が命じた任務を完全に履行する能力がある、と述べた。

同中將は、**KDR** に対し、自分は武装部隊の人員であり、政策決定には関わらないと述べ、**BENHAM RISE** 問題で、フィリピン海軍は国家指導者の方針及び指示を待っている、と述べた。

また我々は、大統領或いは国防部が我々に如何なる任務を付与しようとも、任務を執行する能力がある。例えば同海域でのパトロールを増加したり、或いは我々の **BENHAM RISE** の利益を保護する施設の建設であり、それは全く問題がない、と述べた。

**BENHAM RISE** の主権の帰属問題に言及したとき、彼は次のように述べた：当初、国連の大陸棚限界委員会に対し、フィリピンはルソン島東部海域の **BENHAM RISE** の主権を申請した。その際、いかなる国家も反対しなかった。中国とフィリピンの **BENHAM RISE** に関する争いは、今年3月、フィリピン

政府が中国の科学調査船が **BENHAM RISE** 海域で活動しているのを発見したことから始まった。フィリピン国防部長 **DELFIN LORENZANA** は次のように述べた：衛星写真によると、中国の観測船は **BENHAM RISE** 海域で活動している。中国の観測船は、潜水艦の配備地点を探している可能性がある、と。フィリピン国防部長は、この中国の動きに対して、“高度の関心”と“憂慮”を表明した。

**BENHAM RISE** 海域の争議発生後、中国外交部は次のように述べた：昨年末、中国の海洋科学調査船は確かにフィリピンのルソン島東北部の関連海域を航行した。中国船は航行の自由と無害通航権を有している。海上作業及びその他の活動は行っていない、と。

中国は次のように述べた。1982年の「国連海洋法条約」を含む国際法に基づき、沿岸国の大陸棚に対する権利は、その水域及び水域上空の法的地位に影響を与えない。また外国船舶が国際法に基づき沿岸国の専属経済水域及び公海を自由に航行すること、及び領海内の無害通航権に影響を与えない、と。

中国外交部はさらに次のように述べた。中国は、フィリピンの **BENHAM RISE** 海域の権利を十分尊重している。この点に関し、中国とフィリピンの間に過去に問題はなかったし、現在もない。将来も無いであろう、と。

中国は無害通航ただけであると主張したが、フィリピンのメディアは次のように報道した：フィリピン国防部長 **DELFIN LORENZANA** は次のように述べた。“これが無害通航ならば、なぜ同観測船の航行速度が非常に遅いのか、中国船は突然停止したり、数日間停止したり、その後、別の場所に移動したり。我々から見ると、これが無害通航とは言えない”と。

**DELFIN LORENZANA** の **BENHAM RISE** 争議に対して採る手段は強硬である。しかしフィリピン大統領ロドリゴ・ドテルテの談話は、**DELFIN LORENZANA** とは明らかに矛盾している。フィリピンの報道によると：大統領は、中国観測船が **BENHAM RISE** を通過することを事前に通知されていた、という。

多少有りうる話ではある。中国とフィリピンの関係が、近来安定しているが、**BENHAM RISE** 事件によって、フィリピン内部に、対中国不信感と不安感が依然として存在することが明らかになった。中国は、南シナ海仲裁裁定を順守せず、この問題は未解決のままである。中国はそれ以前に黄岩島で強硬な行動を採っている。したがって中国が今回フィリピンの **BENHAM RISE** の主権保有を承認したとしても、フィリピンは中国の態度を警戒している。今は脅威はないが、将来も脅威がないことを意味しないからだ。

以上